

第7章 受賞・研究交流

7.1 受賞

2025年は該当なし

7.2 当センター共催研究会・研修

数値予報モデル開発者特別研修

目的	数値予報モデル技術の開発に必要な知識・技術の習得
期間	前期：2025年7月7日から9日(3日間)、後期：2025年9月8日から11日(4日間)
開催形式	対面・オンライン併用
正規研修生	数値予報開発センター：6名、気象衛星センター：1名、大気海洋部：3名
特別聴講生	他省庁：6名、大学等研究機関：4名
講師	気象庁職員(数値予報課、気象研究所)
内容	前期：数値ルーチンの説明・プログラミング、後期：数値予報モデルの諸過程

今年度より本研修は数値予報課が主催している。また、上記受講者のほか、庁内の100名以上の職員がオンライン・オンデマンドで聴講した。

第16回気象庁数値モデル研究会

テーマ	線状降水帯予測精度向上に向けた数値予報システムの高度化
期間	2025年12月12日
開催形式	対面・オンライン併用
参加者	約144名(大学・研究機関等約74名、庁内約70名(気象研究所含む))